

2021年度

事業報告書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

一般社団法人 日本交通協会

I 事業の概況

1 事業の実施状況

一般社団法人日本交通協会が2021年度に実施した事業の概況と経過は、以下のとおりである。

(1) 会員加入促進と会員向けサービスの改善

機関誌「汎交通」の充実、コロナ禍においてもガイドラインに沿った講演会の開催を追求するなど、会員サービスに引き続き取り組むとともに、JTA研修修了者へのPR等新規会員加入促進の活動を活発化させてきた。

また、遠隔地会員等へのサービス強化として、講演会のZoomによるオンライン聴講を実現し実施してきた。

(2) 「ホームページ」「汎交通」の充実

① 「ホームページ」の充実

ホームページは、会員サービスのレベルアップと遠隔地会員へのサービスのために重要である。

これまで、講演録、交通研究委員会の記録などの充実に努めるとともに、また、会員へのタイムリーな告知の手段としても活用してきた。

また、日本交通協会と交通関係法人連絡協議会との共催で開催している「鉄道開業150年記念鉄道写真コンテスト」の応募要領をホームページに掲載したことで、一般の方のアクセスが増加し、日本交通協会の認知度が高まってきている。

② 「汎交通」の充実

汎交通については、交通関係の関心の高いテーマについて専門家による解説、討論、研究成果、意見交換などを紹介し、交通事業に資する施策提言や会員の啓発に寄与していくための充実に図った。

(3) 「講演会」等の開催

① 「講演会」の開催

当年度は、東京で12回の午餐会・講演会の開催を計画し、全ての講演会を、会場参加及びZoomによるオンライン聴講による参加を併用しての開催とした。

会場へのリアル参加者には新型コロナウイルス感染防止対策を種々講じながらご参加をいただいていた。

オンライン講演にあたっては、講演者のご協力を得て講演シミュレーションを事前に行うなど、事前の諸準備を重ね、無事にオンライン講演会を開催することができた。

西日本地区での開催については、8月及び2月の2回の開催を計画したものの、コロナ禍の状況を踏まえ、関係方面とも協議し、2回とも開催を見送ることとした。

② 「交通研究委員会」の開催

交通研究委員会は、その都度テーマを決めて講師を招き、委員による研究会を開催している。今年度は6回の開催を計画し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、計画通り開催することができた。

(4) 映写会・親睦会の開催

① 映写会

10月7日に開催し、東映㈱のご協力により「大いなる旅路」及び「喜劇 初詣列車」他、(公財)東日本鉄道文化財団 鉄道博物館提供の短編「走れ特急 寝台列車編」の3本を上映した。

② 親睦関係

新型コロナウイルスの状況に鑑み、各親睦会は一時中止の措置を余儀なくされたが、その後の状況変化の中で、飛沫感染対策を講じたうえで順次再開してきた。

囲碁部では、9月及び3月に大会議室において囲碁大会を開催した。旅行部は2021年度に延期した沖縄研修を2022年度に再延期したものの、感染状況を踏まえ開催を見送った。

競馬文化研究会は9月及び12月に開催、12月には馬の博物館学芸部長日高嘉継氏による講演会（演題：日本の競馬史と現在の馬・競馬事情）を開催した。

(5) JTA人材開発研修の開催

将来の鉄道経営を担うことが期待される人材を対象として、幅広い分野にわたる研修による育成と、組織・システムを超えたネットワークの形成等を目的として、2012年度より「JTA人材開発研修」を実施してきた。

今年度は、コロナ禍の状況下であることから、経営状況と感染への不安から参加見合わせの企業も一部見られたが、今年度で研修も第10回目を迎え、これまでの研修への評価も定着しており、新型コロナウイルス感染防止対策を種々講じたうえで開催し、12法人23名の受講者を迎え、前期の9月研修（集合研修とオンライン研修の併用開催）及び後期の1月研修（集合研修開催）を無事に終えることができた。

後期研修最終日には「第1回JTAGランドセミナー～修了者の集い～」の開催（第一部はマスク着用による講演会・交流会、第二部は着席によるマスク会食）し、第1回から第10回までの研修修了者が集い、共に学び交流を深めることができた。

第1回から第10回までの修了者は、16法人239名にも上るが、オミクロン株感染拡大と相まって参加見合わせも相次いだものの、第一部は99名、第二部には92名の参加があった。

また、昨年度研修を受けた第9回生は、コロナ禍の下で特にコミュニケーションの部分で不完全燃焼に終わったことから、「フォローの機会を」との要望が強く出され、11月に講演とコミュニケーションを内容としたフォロー研修を行った。

(6) 情報セキュリティ対策研究会の開催

ITの急速な進化に伴い、サイバーセキュリティの重要性は益々高まっている。本研究会も2013年度から開催し、情報セキュリティの専門家と協力し、サイバーセキュリティの現状と取り組むべき対策に関する研究会を上期、下期の年2回開催している。

今年度はコロナ禍の状況を踏まえ、上期は6月に、下期は11月に開催した。

(7) 交通関係法人連絡協議会（当会を含め21法人）の開催

交通関係法人連絡協議会は、公益法人改革の実施を機に、国鉄・JRに関わる関係法人が連携強化を図るべきという機運が高まり、2011年7月及び9月に関係法人代表者が集まり議論。同年10月に関係法人が連絡、協力することにより、ともに効率的かつ発展的に事業目的の達成を目指すとして、2011年10月に発足したものである。

具体的には、事業目的推進の協力、セミナー・講演会等の共同開催、協賛参加、会誌等への原稿依頼、紹介、人材育成、内外研修などへの協力である。

今年度第1回目の協議会は、7月16日開催。交通協力会から「鉄道百五十年史」事業の進捗状況についての報告を行った。また、10月の「鉄道記念日の集い」については、①予定通りの開催を前提に所要の準備を進める②今後の感染状況やガイドラインの動き及び四囲の状況に十分配慮し、必要な場合は中止も含めて対応する③実施する場合は、感染防止対策を可能な限り取り組む。などの確認を行った。

9月上旬、当会から新型コロナの状況を踏まえ、各交通関係法人連絡協議会参加の20法人宛に、書面により「第149回鉄道記念日の集い」を開催すべく、その概要（飲食を行わず、式典及び講演会で代替《ガイドラインに従い、開催》）及び開催規模（リアル参加者100名に絞り、Zoom参加ありなど）を提案し、協議会各法人の賛同を得て、10月8日に第149回鉄道記念日の集いを開催することができた。

開催に当たっては、新型コロナウイルス感染対策を講じ、第一部式典、第二部講演会に分けて、いずれも着席で開催した。

更に、11月中旬に、当会から書面により「令和4年新年互礼会」の開催及び「鉄道開業150年記念鉄道写真コンテスト」について提案を行い、賛同を得た。これに基づき、1月6日に「令和4年新年互礼会」を開催した。

開催に当たっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、ホテルメトロポリタンを会場として、第一部式典・賀詞交換会、第二部をマスク着用、着席による懇談会に分けて開催した。

なお、第2回目の協議会は、1月6日、令和4年新年互礼会開催前に開催し「鉄道百五十年史事業の進捗状況」「鉄道開業150年記念『鉄道記念日の集い』」「鉄道開業150年鉄道記念写真コンテストの開催」等について、意見交換を行った。

「鉄道開業150年記念鉄道写真コンテストの開催」については、各法人のホームページや会報による応募等への協力をいただいている。

(8) 新型コロナウイルス感染症対策

① 講演会、委員会等への対策

午餐会・講演会への対策として、会場となる大会議室へは一定の入場制限（収容人数の半数、約100名）を設けるとともに、Zoomによるオンライン参加を可能として、会場へのリアル参加に加えオンライン参加を呼び掛け、会場への入場を一定程度制限し、感染防止に努めてきた。

また、講演会場の演台には講演者用のアクリル板を設置し、テーブル等の除菌は勿論のこと、入場者にマスク着用の徹底を図るとともに、会場入場前の体温測定サーマルカメラによる体温測定の実施、除菌アルコールによる手指等の消毒などを実施している。

各種委員会においても、午餐会・講演会と同様の対策のほか、透明の塩ビ板による飛沫感染防止策を講じている。

② 従業員向けの対策

従業員向けの対策として、日々の体調管理に注意を払いながら、以下の対策を講じている。

- ・在宅勤務及び通勤混雑時間帯を避けるための時短勤務の導入
- ・勤務中のマスク着用の義務化
- ・各所に消毒備品を設置、手洗いや手指消毒の徹底
- ・各々のデスクに飛沫防止用段ボール・パーテーション（フィルム窓付き）の設置
- ・扉の開放、窓の開扉、扇風機や高度空気清浄加湿装置の使用による執務室の定期的な換気の徹底

(9) 特別会議室の椅子の取り換え

特別会議室は会員利用のほか、貸会議室として使用しているものの、椅子が経年劣化により、ひじ掛け布部分の一部がはがれかけてきていることなどから、取り換えを実施した。

(10) 新国際ビル建て替え計画への準備

- ① 当協会は、2013年4月5日に三菱地所㈱との間で「借地権の権利変換に関する等価交換契約」を締結した。その際同社との間で締結した「新国際ビル建て替え計画に関する覚書」を踏まえ、今後とも相互信頼、互惠互譲の関係が維持発展される前提で、新国際ビル建て替え計画に対応するため「改築所要資金調達等検討委員会」を設置し、その検討内容に基づき建て替え準備資金として2013年度から2018年度まで年平均で5千万円を積み立ててきた。

昨年度は、下期において当ビル冷却装置経年劣化に伴う他ビル（丸の内二重橋ビル）からの冷却水受け入れ設備新設工事により約5千4百万円（工期2020年8月1日～2021年12月15日）の費用が見込まれたため、積み立ては行わなかったものの、今年度は、資金収支を勘案し1千万円の積み立てを実施した。

現在の積立金合計では3億5千万円である。

- ② 不動産賃貸事業については、一部テナントの撤退及び縮小、更には日賃貸室営業の新型コロナウイルス感染拡大に伴う予約の減少及びキャンセルの発生などの影響により、対前年度約1千万円の減収となった。

以上の結果、2021年度の一般正味財産増減額は、約1百万円の利益となったものの、前年度に比べ約1千8百万円の減益となった。

2 事業概要

(1) 第10回JTA人材開発研修

- ① 研修日程 前期 9月 9日 ～ 11日
後期 1月14日 ～ 15日

- ② 受講者 12法人 23名

(2) JTA人材開発研修第9回生フォロー研修

- ① 研修日程 11月5日 14時30分～17時30分
② 受講者 10法人 18名

(3) 交通関係法人連絡協議会

- ① 協議会の開催

・第18回協議会の開催 : 7月16日

- ・第19回協議会の開催：1月6日

② 「第149回鉄道記念日の集い」の共同開催

式典及び講演会で代替（ガイドラインに沿い、開催）及び開催規模（会場参加者100名に絞り、Zoom参加あり）で開催

- ・日時：10月8日 16時から17時
- ・会場：日本交通協会大会議室（会場参加63名、Zoom参加35名）
- ・第一部：式典

主催者代表挨拶 大塚陸毅会長

来賓代表 藤井直樹国土交通省国土交通審議官
深澤祐二東日本旅客鉄道㈱代表取締役社長

- ・第二部：講演会

講演者 竹内哲哉日本放送協会制作局副部長兼解説委員（パラリンピック・福祉担当）

演題 「多様性を認める社会とは」

③ 「令和4年新年互礼会」の共同開催

ホテルメトロポリタンを会場として、式典・賀詞交換会及び懇談（着席・マスク着用）の二部制で開催

- ・日時：1月6日 16時から18時
- ・会場：ホテルメトロポリタン（富士の間）
- ・第一部：式典

主催者代表挨拶 大塚陸毅会長

来賓代表 上原 淳国土交通省鉄道局長
深澤祐二東日本旅客鉄道㈱代表取締役社長

賀詞交換会

- ・第二部：懇談（マスク着用、着席）

(4) 講演会（西日本開催予定（2回）を中止）

- ・4月23日「コロナ時代の健康法～パラスポーツの魅力と障がい者の健康と自立を考える～」

（一社）日本パラスポーツ推進機構代表理事

砂野吉貞 氏

- ・6月18日「次期衆院解散・総選挙と菅政権の行方」

ジャーナリスト

歳川隆雄 氏

- ・7月9日「JR貨物グループの長期ビジョン2030」

日本貨物鉄道㈱代表取締役社長

真貝康一 氏

- ・ 9月17日「散歩というライフワーク～月刊『散歩の達人』創刊300号を迎えて～」
武田憲人 氏
- ・ 10月15日「数字のウラを読み解く目」
谷岡学園理事長・大阪商業大学学長 谷岡一郎 氏
- ・ 10月29日「中国の内政外交の動向-進む来年の党大会への準備」
(オンライン開催)
東京大学法学部教授・東京大学公共政策大学院教授
高原明生 氏
- ・ 11月19日「地方交通はどうなるか」
岡山電気軌道(株)代表取締役社長 小嶋光信 氏
- ・ 12月10日「総選挙後の岸田政権の行方」
ジャーナリスト 歳川隆雄 氏
- ・ 1月21日「鉄道をめぐる昨今の課題」
国土交通省国土交通審議官 藤井直樹 氏
- ・ 2月18日「鉄道弘済会の90年と今後」
(公財)鉄道弘済会会長 森本雄司 氏
- ・ 3月11日「未来を育む食と農のエコシステムとは」
県立広島大学教授 吉川成美 氏
- ・ 3月25日「文化としての『環境日本学』—いのちはめぐる—」
早稲田環境塾塾長 原 剛 氏

(5) 調査研究関係

① 交通研究委員会

- ・ 6月 7日「羽田空港アクセス線構想」
東日本旅客鉄道(株) 常務執行役員 今井政人 氏
- ・ 7月 5日「霞が関、JR東日本での鉄道との係わりと、これからの鉄道への思い」
前JR東日本情報システム(株) 取締役会長
星野茂夫 氏
- ・ 9月 6日「臨海鉄道の現状と課題」
神奈川臨海鉄道(株) 代表取締役社長 村山洋一 氏
- ・ 11月12日「大阪駅を起点とした『駅からはじまるまちづくり』」
西日本旅客鉄道(株) 技術理事 建設工事部長
畑中克也 氏
- ・ 2月 7日「再生可能エネルギー主力電源化の課題と原子力の役割」
元(株)日立メディコ代表執行役 執行役社長
三木一克 氏

- ・ 3月 7日「Suicaの次の20年に向けて」

東日本旅客鉄道㈱ 常務執行役員 根本英紀 氏

- ② 情報セキュリティ対策研究会（2回）

- ③ 海外交通政策資料研究会（5回）

(6) 汎交通

機関誌「汎交通」は、運輸・交通界の近況やその時々々の世情を反映した特集を中心に、講演会、交通研究委員会等の講演内容をも掲載し、年4回発行している。第Ⅰ号では「交通インフラのメンテナンス」を、第Ⅱ号では「駅の役割と新たな可能性」を、第Ⅲ号では「カーボンニュートラルとエネルギー戦略」を、第Ⅳ号では「これからの交通と観光～コロナ禍を乗り越えて～」を特集して発行した。

配布先としては、当協会会員に加え、関係の図書館や資料室、大学、行政機関及び社団法人・財団法人等、約110箇所配布している。

(7) 図書関係

図書活動は、①鉄道経営資料の収集及び交通研究資料の整備②交通関係図書の充実及び現存資料の保全・整備③蔵書の整理・分類④博物館への展示物の貸出(鉄道ポスター、書籍)など、交通関係の文化活動支援について日々実施している。

図書館の今年度末蔵書は11,659冊で今年度の受入れは344冊(購入2冊、寄贈342冊)であった。定期刊行物(雑誌類)は、購入18種、寄贈99種の合計117種であった。

・ 閲覧者数は、260名(対前年度41名減)

・ リファレンスは、21件(対前年度4件増)

(8) 助成金・分担金

- ① 日本交通学会が交通に関する学術等を奨励する事業として設けた日本交通学会賞に対し、1990年より実施している助成金、20万円を拠出した。

- ② 1994年から毎年10月14日に開催している「鉄道の日」に行われる諸行事の計画・運営のための分担金として、2019年度は40万5千円を拠出したが、2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、その拠出はなかった。

- ③ 「JRスポーツ賞」に対する協賛金として20万円、他トロフィー代等4万6千円ほどを拠出した。

- ④ 「交通図書賞」に対する協賛金として約300万円を拠出した。

- ⑤ 「鉄道百五十年史」編纂寄付金として100万を拠出した。

(9) その他

① 映写会

- ・開催日：10月7日
- ・長編：「大いなる旅路」「喜劇 初詣列車」
- ・短編：「走れ特急 寝台列車編」

② 親睦関係

- ・囲碁部：指導碁を含む例会17回、9月及び3月に大会議室において囲碁大会を開催した。
- ・俳句部：10月、11月、12月及び3月にそれぞれ1回ずつ開催した。
- ・競馬文化研究会：9月及び12月に開催、12月には馬の博物館学芸部長日高嘉継氏による講演会（演題：日本の競馬史と現在の馬・競馬事情）を開催した。
- ・旅行部：2021年度に延期した沖縄研修を2022年度に再延期し計画したものの、感染状況を踏まえ開催を見送った。

3 役員会等に関する事項

(1) 定時総会

2021年5月27日14時から第115回定時総会を開催した。新型コロナウイルス感染予防の観点から、極力委任状もしくは議決権行使書による参加を呼び掛けての開催となった。

議決権総数は924個、当日の実出席者数21名（21個）、議決権行使（387個）及び委任状（256個）、計643個であった。

(2) その他の会議

① 理事会

- ・第1回定期理事会は、5月10日に開催
※理事20名、監事3名が出席
- ・臨時理事会は、5月27日に開催
※理事19名、監事2名が出席
- ・第2回定期理事会は、10月8日に開催
※理事23名、監事3名が出席

② 顧問会議

11月8日に開催

※顧問13名、役員3名が出席し、会務の報告及び東日本旅客鉄道(株)常務執行役員根本英紀氏による講演を行った。

③ 総務企画委員会

3月18日に開催

※今年度の事業活動、協会会員に関することや来年度の取組みについて意見交換を行い、特に会員入会に関する諸手続きに関して確認を行った。

④ 機関誌・蔵書等審査委員会

今年度は、5回の開催を予定していたが、5月、8月、11月、12月、2月及び3月の計6回の開催となった。

⑤ 講演等委員会

2月10日に開催

Ⅱ 会員の状況

当年度末における会員数は、個人会員は697名で、前年度末に比較して7名減、法人会員214社で、6社減となった。

新規会員（個人）は、50名の加入があったものの、退会者（物故者を含む。）が57名にのぼり、7名減となった。今後も会員の年齢層（今年度末の平均70.6歳）から見て退会は続くものと予想される。

Ⅲ 役員等に関する事項

期末における役員は、会長、副会長、理事長の3名を含む、理事33名、監事3名である。